

## 令和4年度 [果実の概況]

本年の果実は、天候の影響で各品目出荷の遅れが見られましたが、年末に向けて出荷の回復が見込まれます。  
 国産果実総体では出荷量減少気味ですが、生産コストの上昇により産地の要請価格は高めの傾向にあります。  
 輸入品は輸送の不安定要素に加え、円安の影響を受け各品目入荷減の単価高での推移となります。  
 昨年同様忘年会等の会食自粛の影響から、業務需要は厳しい見通しですが、贈答需要と家庭消費の動きに期待しています。

果実概況担当 丸果旭川青果卸売市場 取締役 和田 明 (果実部直通48-3232・3233)

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (K g 単価)	概況
		入荷量	市況		
みかん	愛媛・静岡・和歌山	やや減	並	400～300	年末に向けて出荷量減少するも、価格前年並みの予想です。
りんご	青森・山形	増	やや安	400～350	生育順調、大玉果傾向で出荷量増。市況やや安い見通し。
いちご	茨城・宮城・福岡	並	並	2300～1800	年末に向けて出荷量安定。昨年並みの価格見通し。
干柿	長野・和歌山・山形・福島	並	やや高い	2500～2000	平年並みの生産量で、やや高めの予想です。
キウイ	和歌山、愛媛、ニュージー	増	並	600～500	国産中心の販売。出荷量前年より増加、価格は平年並み予想です。
バナナ	フィリピン・エクアドル	やや減	並	300～150	入荷量は若干の減少、価格前年並み予想です。
パイナップル	フィリピン	並	並	240～200	クリスマスに向けて入荷量増量、価格前年並み予想です。
グレープフルーツ	フロリダ・メキシコ	減	高い	530～350	入荷不安定で少ない状況、単価高予想です。
オレンジ	オーストラリア	減	やや高い	350～250	輸送の関係で入荷量減の単価高傾向です。